



旅行好きのソムリエが、世界のあっちこっちから
死ぬ前に一度は見ておくべき町を厳選してご提案します。
私があなたの次の旅をもっとわくわくさせますよ!

フィリピンの語学学校に滞在する

この回からあと数回はフィリピンからの投稿となります。
というのも、私は現在フィリピンのケソン・シティに滞在しており、ここへ来て早1ヶ月が過ぎようとしています。フィリピンの旧首都であるケソンは現在の首都マニラの北東に隣接しており、メトロ・マニラと呼ばれるマニラ首都圏に含まれる都市の中では最も大きい市です。

ケソンには2ヶ月ほどの滞在予定ですが、その目的は日本人を対象とした語学学校で英語を学ぶため。英語を学びたい日本人にとって、フィリピンへの語学留学は経済面でも魅力的な選択肢のひとつです。留学したいと言う気持ちはあっても経済的な問題や長期での休業を余儀なくされることを考えると決断に踏み切れないうか。そのあたりは多いのではないのでしょうか。そのあたりの摩擦をうまくカバーしてくれ、いわば「お試し留学」のような経験ができるのがフィリピン。留学期間は1週間という超短期間から数ヶ月、1年とかなり融通が



利きますし、アメリカやカナダ、オーストラリアやニュージーランドといった英語圏の国へ留学することを考えると費用は格安。あくまでも私の場合ですが、留学費用は2カ月間で約35万円です。これには1人部屋での部屋代、光熱費、1日3回の食費やシャワー、部屋のクリーニング代といった生活に関わるほぼ全ての諸費用が含まれていますので、滞在中のほかに発生する出費はそう大した額にはなりません。

授業に関して魅力的なのは、全てのレッスンがマンツーマンで行われること。時間になれば先生が生徒の部屋に訪れ、各自のレベルにあったレッスンを展開してくれます。いわば全寮制の学校で、授業のために先生が自分の部屋に通ってくれている状態。2人きりなので授業から話が脱線して教室であるはずの部屋が相談室か談話室状態になっていることもままありますが…。日常的な英会話を自然に行うのもまた勉強。フィリピン訛りの英語を気にされる日本人も多いと聞きますが、今まで私が出会った先生方は皆きれいなアメ

リカ発音で英語を話されています。(フィリピンで学べるのはイギリス英語ではなくアメリカ英語です。)もちろん、合わないと感じれば先生を交代してもらうことができますので、それぞれが自分に合った先生を選ぶことができます。フィリピン人は明るくフレンドリーな性格の方が多いため、休日は先生と一緒に海やカラオケ、美術館や教会に行くこともしばしば。(余談ですが、フィリピンの人はカラオケが大好き。小さい頃から歌番組を見ながら友達や家族で歌ったり踊ったりして過ごしたという人が多く、歌の上手な人がとても多いのです!)生徒の年齢層は10代から60代まで様々ですが、みんな同じ目標を持って来ているので共通の話題が多く、生徒同士の仲もとても良いです。

全く英語が理解できなくとも何ら困ることのない日本で英語でのコミュニケーションを滑らかに行えるスキルを身に付けるのはなかなか難しいもの。いつか留学をと考えながらも踏ん切りが付かずにいる方は、思い切って短期での留学体験をされてみ



てはいかがでしょうか。たかが数ヶ月の滞在で何か変わるのかと思われるかもしれませんが、そこは本人の努力次第。たとえばほんの少しでも今より英語が上達すれば、世界は格段に楽しい場所になりますよ。

- ④ 自室
- ⑤ シーツやカーテンも交換してくれるので快適
- ⑥ 食事はbuffet方式です
- ⑦ 野菜が多く和風の味付けなので日本でいる時よりも健康的な食生活かも…
- ⑧ 生徒さんのバースデー
- ⑨ カラオケルームは日本と大差ありません